



募集要項および研修プログラム

第4期

令和6年4月

富田林市きらめき農業塾

富田林市の農業を創造する会
担い手育成部会

目次

1. 募集要項

第4期（令和6年度）募集要項

研修の全体像

2. 研修プログラム

（1）はじめに

（2）これまでの歩み

（3）研修受入組織紹介（富田林市の農業を創造する会）

（4）組織体制、サポートデスク紹介

（5）研修カリキュラム

（6）プロジェクト（課外活動）の紹介

3. 研修受入農家の紹介

1. 富田林市きらめき農業塾 募集要項

■概要

本農業塾は、希望ある富田林市の農業の創造、また美しい・活力ある農村の実現のため、新規就農者・担い手・後継者を育成し、富田林市の農業の未来を拓くことを目的としています。

地域の農業者がこれまで個々に培ってきた新規就農者受入・育成のノウハウを集約し、地域全体で新規就農希望者を育成・サポートします。

■研修内容 ※詳細は「2. 研修プログラム」にてご確認ください。

研修の対象者および概要

栽培経験のない初心者の方から家庭菜園等の経験者まで幅広く対象とします。

研修は「基礎研修」「農家研修」の大きく二つの柱からなります。

「基礎研修」は毎週土曜に実施します。道具の使い方に始まり20種超の栽培実習、基本的な植物生理に関する座学等を通じ、基礎知識・基礎技術の習得を目指します。

「農家研修」は年明け1月頃から開始します。本塾を運営する24の受入農家と塾生個人が内容・日程を調整し、圃場を訪問して学ぶ研修です。12月に農家見学ツアーを行い、塾生・農家の双方がお互いを知る機会を設けます。回数の制限はありません。

その他、定期的な販売体験（マルシェ）や、不定期で技術研修やイベントがあります。

研修の全体像はp.4、座学内容等は「◆研修計画：基礎農場での学び(p.13)」をご覧ください。

「基礎研修」における実施内容（第1-3期の実施内容）※一部変更になる可能性があります

実施月	研修内容	実施月	研修内容
8月	開講式・オリエンテーション、区画づくり 鋤の使い方／三度豆（インゲン）の定植	2月	植物生理座学③：農法と環境 エンドウ・玉ねぎの追肥・除草管理
9月	畝づくり／人参・ジャガイモ・大根の播種 畝間の土あげ／白菜・キャベツ・ブロッコリー定植 カブの播種、三角ホーを用いた除草の仕方 水菜・ハウレン草・小松菜の播種／除草管理作業	3月	春夏野菜準備：耕うん ジャガイモ植え付け スイカの畝づくり
10月	ジャガイモの土寄せ・間引き・追肥／菊菜の播種 化成肥料についての解説／間引き 大根・カブの間引き／インゲン収穫／他管理作業 インゲン・白カブ収穫／他管理作業 収穫・管理作業	4月	エンドウの管理 スイカ定植、ジャガイモ土寄せ、雑草管理 トウモロコシ定植、果菜類の畝準備 ナス、キュウリ、トマト、ピーマン定植等
11月	収穫・出荷調整作業の体験① インゲン・ジャガイモの収穫・片付け 収穫・出荷調整作業の体験② 玉ねぎの定植	5月	スイカの除草管理、トウモロコシ土寄せ、 果菜類の脇芽とり カボチャ・モロヘイヤ定植、果菜類手入れ エンドウ・タマネギ収穫、片付け
12月	スナップエンドウ・うすいエンドウ定植 植物生理座学④：「土」について 収穫・管理作業トラクター操作研修 +農家見学ツアー（4回に分けて実施）	6月	オクラ定植、ジャガイモ収穫 トウモロコシ・カボチャ管理 トウモロコシ・枝豆定植、スイカ管理(防鳥)
1月	植物生理座学②：作物の生育と肥料・農薬 エンドウの支柱立て／収穫・畝の片付け	7月	果菜類・オクラ・トウモロコシ収穫、片付け 農薬に関する座学、噴霧器の使用体験実習 圃場片付け、元肥撒き、耕うん 修了式（時期生への農地引継ぎ）

■研修期間

2024年8月24日（土）～2025年8月上旬までの1年間

■研修費

税込 242,000円／年

※指導料、区画使用料、農場における資材費、損害保険加入料を含みます

※入塾時に一括でお支払い頂きます

■定員

最大20名を予定しています。

■申込条件

- ・健康面・体力面で問題のない方（年齢制限はありません）。
- ・反社会的勢力等に該当せず、かつ将来にわたっても該当しないことを確約される方。
- ・週1日（土曜日）の研修に参加可能な方を対象とします。
- ・研修農場までの移動手段はご自身で手配ください。
- ・人数が募集枠を超過する場合には、修了後、富田林市での就農に意欲がある方を優先します。

※1年間の研修期間中は、原則、就農（雇用・独立）をお控え頂きます。

※修了後の雇用就農を希望される方向けに、塾終盤にマッチングサポートを予定しています。

■申込方法

1. おおきにアグリ(株)WEBサイト上「エントリーフォーム」にて、必要事項をご入力ください。
2. 事務局にて確認後、メールにて願書（Excel形式）と面談日程をお送りします。
願書はPDFまたはメールにてご返送ください。
3. 面談の結果は後日メールにてご連絡いたします。

エントリー締切：6月30日（日）23:59まで

■研修開始までの流れ

4月末～6月30日(日) エントリー受付期間

- 個別面談は5月中旬から複数回実施します。

6月30日(日) エントリー締め切り

7月10日(水) 受講生決定、採否通知（メールにてご連絡します）

8月24日(土) 入塾式、オリエンテーション

- 午前10時30分から、富田林市内の施設での実施を予定しています。
- 基礎農場での研修初日は8月31日（土）、午後15-17時の実施を予定しています。

お問合せ先：サポートデスク(相談窓口)

〒584-0048 大阪府富田林市西板持町2丁目11番25号

おおきにアグリ株式会社内 富田林市きらめき農業塾事務局

※質問・問い合わせ事項はホームページ内の「お問い合わせフォーム」からご連絡ください

富田林市きらめき農業塾サポートデスクは、研修中はもちろん就農後も進捗に合わせたサポートを実施します。組織体制や対応メンバーについてはpp.9-10をご参照ください。

【サポート内容の例】

就農相談窓口対応／農地貸借相談関連／農機貸借・購入相談関連／見学体験相談窓口／
農地管理・相談／生活関連相談／栽培関連相談／営農相談／雇用研修相談／他農業関連相談

1. 募集要項 / 研修の全体像

年間の研修プログラム



※以下は現在の予定であり、内容・時期が変更になる場合があります。



- ① 基礎農場での栽培・収穫 (毎週土曜)

道具の使い方、畝の作り方
追肥・防除・管理の考え方

- ・ インゲン
- ・ ジャがいも
- ・ 大根・カブ
- ・ ニンジン
- ・ 白菜
- ・ ブロッコリー
- ・ キャベツ
- ・ タマネギ
- ・ エンドウ

収穫・管理作業

春夏野菜の定植・管理
農業機械の操作方法

- ・ ジャガイモ
- ・ スイカ
- ・ トウモロコシ
- ・ ナス・トマト
- ・ ピーマン
- ・ キュウリ
- ・ 他夏野菜

基礎研修

- ② 座学研修

「大阪府の農業」 「農産物流通」 「農家勉強会」 (ファームサイド佐川講師)

「農地法等関連法規」 「栽培・営農計画の立て方」 「植物生理と肥料・農薬」 「環境と農法」 ほか

- ③ 各種体験

農家-塾生 懇親会
もみ殻たい肥 づくり体験

ナスの接ぎ木 体験

トラクター 研修

ハウスの建設 体験

出荷調整、販売体験 (マルシェ出品)

農家研修

- ・ 地域の24農家が受入
- ・ 訪問回数に上限なし
- ・ その日にある仕事を体験 (ありのままの農作業)

作業体験

- ・ イチゴ定植
- ・ 海老芋収穫

農家見学ツアー

- ・ 24農家を4回に分けて訪問

年明けに

農家研修解禁

塾生：進路希望調査
農家：受入希望調査

受入先マッチング

雇用就農に向けた体験期間
雇用契約の締結へ調整

塾生-農家間で日程調整し訪問・体験

半農半X

活かして分野を
得意分野を
貢献

雇用就農

独立就農

2. 研修プログラム

(1) はじめに | わたしたちの思い

皆さんにとって「農業」とはどんなものですか？

- ・生物の命を育み、人々の「食」を担う役割
- ・生命の多様性を維持し、環境を保全する役割
- ・人々に安らぎや癒しを与える空間をつくる役割
- ・食の大切さを伝え、次世代へと継承していく役割

など……農業は「暮らしの豊かさ」を支える役割を担っていると、私たちは考えます。また、産業としての「農業」も、暮らしの一部としての「農業」も、それぞれに意味があり、必要なことであり、尊重されるべきものだと、私たちは考えています。

そうした「農業」を通じて笑顔になる人を増やしたい、それが私たちの願いです。

まずは小さな家庭菜園を持ってみたい方、週末農業から始めてみたい方、将来専門農家になって「食」を担いたい方、農業に興味はあるけど、何からやったらいいかわからない方…そんな皆さんの想いを手助けする学びの場を、私たちは提供します。

農業技術の習得をはじめ、同じ想いをを持った仲間との出会い、専門農家との繋がり、就農に向けたサポートなど、農業の入り口から独立経営に向けた支援まで、さまざまな研修プログラムを準備しています。

特に新規就農は、軌道に乗るまでの収支設計が難しく、さらには営農しやすい農地との出会いなど、自身の努力だけではどうにもできない要素にも左右されます。

こうした点を、地域の農家グループ「新規就農サポートデスク」を中心に、できる限りのサポートをしてきたいと考えています。

新規就農者の定着は全国的な課題ですが、私たちの取り組みを通じて、一人でも多くの「就農希望者」が「農業者」になれたらと思っています。

富田林市での生活は、いわば「都会の中の田舎暮らし」です。

農業を通じて、一緒に笑顔になりましょう。



2. 研修プログラム

(1) はじめに | 代表者あいさつ

作っているのは農産物ですが 育てているのは人財です

初めまして。富田林市きらめき農業塾 運営委員会会長の中筋秀樹です。
大阪府富田林市で、ナス、キュウリ、海老芋などを中心に生産しています。

今回わたしたちは「富田林市きらめき農業塾」を通じて、新規就農を志す皆さんをサポートし、地域に定着・成長されることをお手伝いしたく、この取り組みを立ち上げました。

本市は大阪府下でも古くから農業が盛んな地域で、大阪市内から40分程度とアクセスがよく、いわゆる「都市近郊農業」を特徴とする地域です。

農業界が直面している「農業従事者の高齢化」や「後継者不足」は、本市でも大きな課題となっており、これまでも様々な対策が取られてきましたが、十分な効果が上がっていない現状です。団塊の世代までもが高齢化してきた現在、この兆候は限界を迎えているように感じます。本市は、特産の大阪ナス、きゅうり、海老芋等の産地として評価を受けてきましたが、産地の維持すら難しくなる未来がすぐそこまできています。このままでは、本市の農業は活力を失い、その結果、耕作放棄地が増加し、農業の取り巻く環境はさらに悪循環の一途をたどってしまいます。

一方で、近年の良い兆候として、社会人経験を経たのちに農業で生計を立てることを志し、私たちの地域に研修に入られるケースも徐々に増えつつあります。この背景には様々な要素があると思いますが、何かのご縁で農業を志された方が、途中で、何らかの外的要因で就農をあきらめたり、叶わなかったりすることも、残念ながらあります。私たちは、こうした外的な要因のうち、地域の受入農家側の取組によって、そうした残念な事例は解消できるのではないかと、思うようになりました。その結果が「富田林市きらめき農業塾」であり、これまでの新規就農経験者を中心とした「新規就農サポートデスク」によるサポート体制にあります。

本市の農業の持続的発展のためには、職人の技術を受け継ぐ【若手農業者の育成】と、【都市住民が農業を身近に感じられる仕組み・接点づくり】が必要だと私たちは考えます。そのために、地元農家十数名が中心となり、新規就農者を迎え育てる機関として「富田林市きらめき農業塾」を立ち上げ、栽培技術の習得、農業「経営」力の育成、就農後の定着・安定化までをフォローアップしていく枠組みを確立しようと取り組んでいます。まだ完成された枠組みではないですし、これからどんどん、私たち自身も学んでいこうと思っています。手ごろな授業料には見えないかもしれませんが、これから就農を志す皆さんにとって、間違いなくプラスになるものと信じています。ぜひ、一緒に、農業を通じて幸せな人生を歩んでいきましょう。

中筋 秀樹 (なかすじ ひでき)

富田林市きらめき農業塾 運営責任者

富田林市の農業を創造する会 担い手育成部会長

おおきにアグリ株式会社 代表取締役

ナカスジファーム 代表



大阪府立農芸高校、大阪府立農業大学校を卒業後、20歳で就農。33歳の時に先代から事業を継承。ナカスジファームでは、大阪ナス、胡瓜の大規模生産をはじめ年間約30種類の野菜を生産。『農』を志す我々が農業のあるべき姿を創造する！という経営理念を掲げ、「これからの農業」を日々模索。2020年4月にはJGAP認証を取得。自身の農業経営以外にも、地域農業の維持・発展に向けた貢献意欲を強く持ち、「富田林市の農業を創造する会」の発起人の一人として新規就農希望者の育成に力を入れています。

2. 研修プログラム

(2) これまでの歩み

2015年

「富田林市の農業を創造する会」設立

市内の有志農業者により、平成27年に「富田林市の農業を創造する会」を設立しました。農業の未来を考え、研究行動し、会員が相互に協力しながら課題に取り組む体制を構築しました。

2017年-2018年

大阪府「新規就農『はじめての一步』村」研修生受入

大阪府とJA大阪中央会が主催する新規就農村事業「新規就農『はじめての一步』村」の研修受け入れ団体として参画し、2年間にわたり、大阪府内の就農希望者31名の研修を受け入れました。農業に関心がありつつも、接点を持つ機会がなかなかなかった社会人等を対象に、土日を中心とした研修プログラムを提供。このうち約半数が、就農または就農に向けた農家研修など、「二歩目」の研修に進んでいます。



2020年

「富田林市きらめき農業塾」立ち上げ準備期間

これまで、農林水産省補助事業「令和2年度 農業人材力強化総合支援事業のうち地域の新規就農サポート支援事業（新規就農を支える地域体制構築への支援）」の補助を受け、受入態勢の準備を進めてきました。

2021年8月～

「富田林市きらめき農業塾」開講

第1期は17名、第2期は24名、第3期は14名の皆様を迎え研修を行っています。毎週土曜日に栽培の基礎を学ぶ「基礎研修」と、20名を超える地域の受入農家にて学ぶ「農家研修」の2つの柱からなります。この他にも座学研修や自分たちが育てた野菜を販売する金剛軽トラマルシェへの参加等を通じ、農業への理解を深めていきます。

これからも、富田林市の農業を創造する会の担い手育成部会会員と市内の有志農業者を主体として進めていきます。また、本事業に協力していただける関係機関とともに、連携しながら、よりよい人材育成機関となるよう、成長していきたいと思っております。



2. 研修プログラム

(3) 研修受入組織紹介（富田林市の農業を創造する会）

私たちの特徴

①多様性：年齢／品目／経営スタイル

受入農家

- ・ 40代を中心に20代から70代まで（20代2名、30代4名、40代7名、50-70代3名）。
- ・ 農業経験は5年から57年まで。若手からベテランまで多様なメンバー構成です。
- ・ ナス、キュウリ、海老芋等の産地品目をメインとする農家为中心ですが、トマト、ネギ、ブルーベリー、いちご…その他一般的な野菜をメインにする農家もいます。
- ・ 産地型の大量少品目でJAや量販店向けに出荷する農家が多いですが、個人宅配で中量中品目、少量多品種の生産・出荷をする農家もいます。
- ・ 主に慣行農法ですが、市内には有機・自然農法を行う農家もいます（ご紹介可）。

研修生

- ・ 現在、地域全体で20名程度の研修生がいます。
- ・ 各農園の研修生以外にも、独立し新規就農者としてチャレンジしている先輩が多数います。

②行政・外部機関との連携（府、市、JA、外部事業者、その他）

- ・ 過去の事業で協業した経験から、大阪府、JA大阪南、富田林市、その他外部の事業者との連携体制があります。
- ・ 農地の紹介・斡旋や、勉強会への参加、外部事業者等との事業連携等もできます。
- ・ これまで蓄積してきた経験をもとに、地域内外の多様な関係者で、この事業を育てていきます。

③地域の信頼

- ・ 運営主体である「富田林市の農業を創造する会」は、地域で代々農家を営むメンバーが中心となって組織しており、地域からも厚い信頼を寄せて頂いています。そのため、離農に伴う農地やハウス、機械等の情報が集まりやすく、地域の資産を無駄にすることなく次の世代に橋渡しする役割を果たすことができます。
- ・ 地域にとっても、これから就農を目指す方にとっても、無駄が生まれにくく、投資＝リスクの少ない就農のお手伝いをすることができます。

④「新規就農サポートデスク」によるサポート

- ・ 私たちは、新規就農者の定着・育成のためには、上述の投資・資金面だけでなく、地域との関係性構築や、円滑な指導・技術の習熟のための「日々のコミュニケーション」をもとにしたサポートが重要だと考えています。
- ・ 運営事務局の他に「新規就農サポートデスク」を設け修了後のサポートも可能です。
- ・ なお、サポート人員は先輩新規就農者が中心となっており、年代や農業経験年数も様々ですので、気軽にご相談ください。

⑤大阪府知事認定のプロ農家「農の匠」による基礎指導

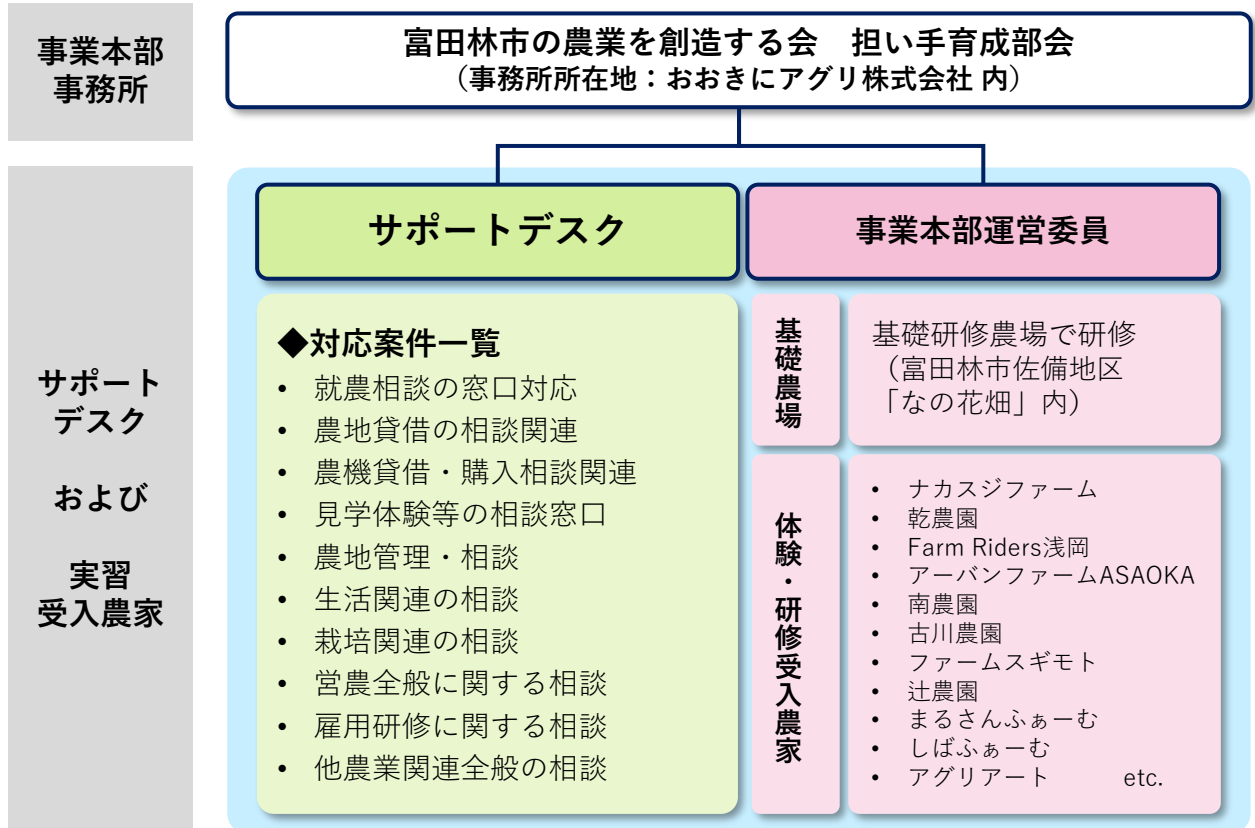


- ・ 「農の匠」とは：優れた農業経営を行っていることはもちろん、青年農業者の育成や食育活動に積極的で、地域農業のリーダーとして活躍されている農業者を、大阪府知事が「農の匠」として認定する制度です。
（ナカスジファーム 中筋秀樹、乾農園 乾裕佳の2名）
- ・ 基礎研修農場 農場長：東 幸一（現在「農の匠」は引退）
多種多様な栽培の知識を有するベテラン農家。有機栽培を基本に環境負荷の少ない農業に取り組む。鍬の持ち方から丁寧に、細やかに指導します。

2. 研修プログラム

(4) 組織体制、サポートデスク紹介

組織体系とサポートデスクの位置づけ



新規就農サポートデスク担当者のご紹介 (計8名)



浦田 三織

新規就農 8年目 (まるさんふぁーむ)

研修先：ナカスジファームにて2年間研修⇒独立就農

大阪府藤井寺市出身。22歳からの数年間を会社員として東京で過ごす。電車の中吊り広告で見た「農業が日本を救う」という言葉から就農を志すようになり28歳で退社、以降5年間、全国各地で飛び込みで農業研修に参加。香川で見たネギ畑の美しさから、ネギでの就農を決意した。大阪に戻り、ナカスジファームで2年間研修。土地、機械、作業場、取引先紹介…その他あらゆる相談事に乗ってもらい独立に向けサポートしてもらった経験と感謝から、自身も次に農業を志す方々へのサポートを通じて恩返しできたらという思いを強く持っている。



清水 裕之

平成29年度「はじめの一步」村 修了生

おおきにアグリ株式会社 取締役

非農家出身で物流関連の会社経営者。農業をやりたいという思いから平成29年の「はじめの一步」村に参加、富田林市に通い始める。地元農家との交流の中で「農家社会の常識は一般ビジネス社会の非常識」と感じることも多く、自身の経験や知見が地域の農業に役立つこともあるかと考え「おおきにアグリ」に参画。

「自分一人が新規就農するよりも数十人数百人の新規就農者さんのサポートに回る方が大阪の農業に貢献できるはず。就農を目指す方々にはよりハードルの低い入口環境を提供できるようサポートします」

2. 研修プログラム

(4) 組織体制、サポートデスク紹介

新規就農サポートデスクのご紹介



乾 裕佳

(いぬい ゆか)

40代 / 就農26年目

乾農園 代表
おおきにアグリ株式会社
取締役



杉本 一義

(すぎもと かずよし)

40代 / 就農10年目

ファームスギモト 代表



浅岡 弘二

(あさおか こうじ)

40代 / 就農26年目

アーバンファーム
ASAOKA 代表



浦田 大志

(うらた たいし)

40代 / 就農7年目

しばふあーむ 代表



南 信宏

(みなみ のぶひろ)

40代 / 就農23年目

南農園 代表



浅岡 敬勝

(あさおか たかかつ)

40代 / 就農21年目

FarmRiders 浅岡農園 代表
富田林市の農業を創造する会
現代表

運営事務局のご紹介

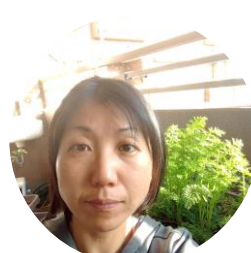


伊東 拓也

(いとう たくや)

30代 / 事務局長

おおきにアグリ株式会社
取締役



東 ちひろ

(あずま ちひろ)

40代 / 事務局担当

基礎農場研修サポーター
ナカスジファーム従業員

2. 研修プログラム

(5) 研修カリキュラム | 研修を通じて目指す姿

◆対象者：基礎から就農を目指す方から純粋な栽培経験を求める方まで

以下のような未来像をお持ちの方を想定しています。

- ・ 専業農家 農業で食べていきたい、という方
- ・ 兼業農家 現在の仕事は続けながら、実家の農地や借りた農地を活用したい方
- ・ 半農半X 自分のスキルと農業を掛け合わせて農業と関わりたい、という方
例：農福連携、ICT（スマート農業）、食農教育、アグリツーリズム、農のある暮らし
- ・ 純粋に 農業のイロハ／基礎を学んでみたい、という方
- ・ 富田林市のプロ農家との接点を持ちたい、という方

現在の状況として、次のような状況の方にお勧めします。

- ・ いずれ農家を目指したいが、多様な経営スタイルを見たい、知りたい
- ・ 現在の仕事は続けたいが、農業の勉強も始めたい
- ・ 農業に適性があるかを現場で試したい／大変さを体験・体感したい
(迷っている／判断するための情報を得たい)

ご自身の興味・関心が次のような方に適しています。

- ・ 理論より実践派：現場での体験・体感を重要視する方
(座学は家で自分でやる→現場にしかないものを見たい、触れたい)
- ・ 一人でできる農業の限界と、プロの農業の「差」を知りたい
(プロ農家の作物と、自分の区画で栽培したものとの比べたい、等)
- ・ 純粋に「農のある暮らし」を体験したい
(自分と農業、自分と地域、自分とナス…等)

◆研修期間、日程：土曜日の活動を中心にしたプログラムです。

- ・ 研修期間：2024年8月24日～2025年8月上旬（1年間）
- ・ 研修日程：毎週土曜に研修を行います（主に午前中。暑い時期は夕方実施）。

※ その他、不定期な体験や交流会、勉強会等があります。

※ 悪天候等により中止／内容を変更する場合があります。

◆受講料：

- ・ 税込 242,000円／年（税抜 220,000円／年）

以下を含みます。

- ・ **基礎研修・農家研修指導料** ： 鋤の使い方など基礎から指導します。
- ・ **区画使用料、資材費**： 個人区画で栽培・収穫します。一部マルシェ等で販売します。
- ・ **損害保険加入料** ： 熱中症等での通院等もカバーしたレクリエーション保険です。
(その他、必要な方はご自身で保険加入をお願い致します)

2. 研修プログラム

(5) 研修カリキュラム | 研修を通じて目指す姿

◆本研修を通じてできること／できないこと

できること

- 未経験者でも、農産物栽培に関する基礎的な経験・知識を得ることができます。(1年間の栽培を通じ20種類程度の作物を育てます)
- 農業特有の道具、資材、服装…その他様々な用語に関する知識が得られます。
- 畝立てから、収穫まで、自身の区画をご自身で管理することができます。
- 農場での実習のほか、植物生理に関する座学も設けています。土壌、肥料・農薬、農法について講義します。
- 経営を意識した座学研修：大阪府の農業の特徴、農産物流通に関する基礎知識、農地法等の関連法規といった販売・経営面の座学機会も設けています。
- 販売体験：希望者は月1回行われる「金剛軽トラマルシェ」への参加を通じ、生産した野菜を販売する経験ができます。POPや陳列のレイアウトも試すことができます。
- サポートデスクを通じ、気軽に先輩新規就農者への相談や農場見学ができます。
- 就農イメージが強くなった場合は、塾中盤～後半の農家研修を経て、研修先のマッチングに向けサポートしていきます。

できないこと

- 本コースを修了しても、即座に就農できる技術レベルには至れません。自身の希望する品目・作型の受入農家に雇用就農し、一定期間の研修を経て独立されることをお勧めしています。
- 自身で栽培した作物を、直売所等で販売することはできません。

※その他、上記以外にご自身の取り組まれたいことが可能か否かについては、富田林市きらめき農業塾ホームページ「お問い合わせフォーム」よりご連絡ください。

※第1-3期の学びの様子

- 食べきれないほどの野菜を収穫できました。インゲン、ほうれん草、水菜、小松菜、大根（青首、あじまるみ）、人参、ブロッコリー、キャベツ、白菜、赤かぶ、白カブ、ジャガイモ。その他、柑橘、ソバの収穫体験も行いました。
- 体験・研修受入農家への訪問を通じ、都市農業ならではの多様な経営スタイルを学ぶ機会を設けられています。独立就農、雇用就農を目指して土曜日以外にも研修に入る受講生や、半農半Xを目指し個人区画以外にも農地を借りて栽培にチャレンジしている受講生も多数出てきています。その際に必要な農機具は塾生価格でお貸しするなど、サポートデスクでのフォローも行っています。
- 販売体験（マルシェ）では、受講生同士で情報発信の仕方について工夫しています。調理例の写真やPOP、ショップカードや看板の制作など、ご自身の強みを発揮頂いています。
- 既存農家と連携し、3反（約3,000㎡）程度の農地を活用した栽培プロジェクトが立ち上がるなど、カリキュラム外の取り組み・コミュニティもできつつあります。

2. 研修プログラム

(5) 研修カリキュラム | 年間の学習テーマ

◆研修計画：基礎農場での学び

8月に入塾式を行い、鍬の使い方や作物ごとの畝の作り方などの基礎的なことから学び始めます。

「基礎研修」における実施内容（第1-3期の実施内容）※一部変更になる可能性があります

実施月	研修内容	実施月	研修内容
8月	開講式・オリエンテーション、区画づくり 鍬の使い方／三度豆（インゲン）の定植	2月	植物生理学③：農法と環境 エンドウ・玉ねぎの追肥・除草管理
9月	畝づくり／人参・ジャガイモ・大根の播種 畝間の土あげ／白菜・キャベツ・ブロッコリー定植 カブの播種、三角ホーを用いた除草の仕方 水菜・ハウレン草・小松菜の播種／除草管理作業	3月	春夏野菜準備：耕うん ジャガイモ植え付け スイカの畝づくり
10月	ジャガイモの土寄せ・間引き・追肥／菊菜の播種 化成肥料についての解説／間引き 大根・カブの間引き／インゲン収穫／他管理作業 インゲン・白カブ収穫／他管理作業 収穫・管理作業	4月	エンドウの管理 スイカ定植、ジャガイモ土寄せ、雑草管理 トウモロコシ定植、果菜類の畝準備 ナス、キュウリ、トマト、ピーマン定植等
11月	収穫・出荷調整作業の体験① インゲン・ジャガイモの収穫・片付け 収穫・出荷調整作業の体験② 玉ねぎの定植	5月	スイカの除草管理、トウモロコシ土寄せ、 果菜類の脇芽とり カボチャ・モロヘイヤ定植、果菜類手入れ エンドウ・タマネギ収穫、片付け
12月	スナップエンドウ・うすいエンドウ定植 植物生理学④：「土」について 収穫・管理作業トラクター操作研修 +農家見学ツアー（4回に分けて実施）	6月	オクラ定植、ジャガイモ収穫 トウモロコシ・カボチャ管理 トウモロコシ・枝豆定植、スイカ管理(防鳥)
1月	植物生理学②：作物の生育と肥料・農薬 エンドウの支柱立て／収穫・畝の片付け	7月	果菜類・オクラ・トウモロコシ収穫、片付け 農業に関する座学、噴霧器の使用体験実習 圃場片付け、元肥撒き、耕うん 修了式（時期生への農地引継ぎ）

◆その他座学講義・イベント等

上記研修に加え、農業や栽培についての理解を深める知識の習得や経験値の向上に向け、座学講義やマルシェ等に参加します。基礎研修を午前、座学等が午後に行います。

実施月	研修内容・イベント	随時実施
10月	座学：大阪府における農業の特色について	販売演習 「金剛軽トラマルシェ」 (毎月1回を予定、自由参加) 先輩農家との交流会 見学・体験研修
11月	実習(希望者)：もみ殻たい肥作りへの参加／富田林市農業祭	
12月	実習：農業機械・安全講習(トラクター) 座学：植物生理①「土」について	
1月	座学：農地法等の農業関連法規、就農に関する制度 座学：植物生理②作物の生育と肥料・農薬 座学：栽培・営農計画の立て方(大阪府いちごアカデミー連携企画・予定)	
2月	座学：農産物流通の基礎知識(流通と表示) 座学：植物生理③農法と環境	
3-6月	(基礎圃場の栽培管理や農家での現地研修を中心に取り組む期間)	
7月	農薬の基礎知識と取り扱いの方法について	

2. 研修プログラム

(5) 研修カリキュラム | その他

◆研修日の流れ

主に土曜日の午前9時から3時間程度で研修を行います。
夏場の暑い時期は、植物の状況に合わせて時間を調整し夕方に実施します。
土曜日以外にも、自身の区画の管理や収穫等に自由にお越しただいて構いません。



◆移動について

原則として、基礎研修農場へのご移動はご自身でお願いします。
農場隣接の駐車スペースがありますので、自家用車、二輪車等でお越しください。

公共交通機関でのご移動の場合は、以下の経路となります。

- ①バス+徒歩：近鉄「富田林駅」から金剛バス東條線「中佐備」バス停から徒歩15分
- ②自転車等：近鉄「川西駅」から自転車で約20分

◆悪天候の場合

前日のうちに実施するか否かの判断を行い、ご連絡します。
判断が難しい場合は当日朝に最終決定となる場合もありますのでご了承ください。

(なお、第1~3期とも、悪天候による中止はそれぞれ1-2回程度でした)

◆基礎農場での研修以外の時間について

基礎農場での研修以外に、月1回程度、座学の機会を設けています。
午前中に基礎研修、午後に座学という流れになります。

前頁に記載の年間のイベント以外に、適宜、受入農家（地域のプロ農家）の見学の機会を設けますので、ご自身の関心に応じてご参加ください。

プログラムの前半では、基礎農場での栽培研修を中心に据え、上述の座学や見学などを交え農業への理解と関心を高めることに比重を置きます。

後半では、基礎農場での研修以外のイベント等が減りますので、ご自身の希望に応じてプロ農家での体験・研修に参加したり、より広い農地を借りて育てたい作物にチャレンジしたり、自身の関心を深める時間に充てて頂ければと思います。

※備考※

土曜日に実施する基礎研修は、申込者ご本人以外の参加はできません。
基礎研修の時間以外であれば、ご家族の方に一緒にお越しただいて構いません。その場合、ご家族は保険の対象外となるため、安全に気を付けて作業ください。

2. 研修プログラム

(5) 研修カリキュラム | 第1期・第2期の研修の様子①

研修当初の様子 (8月～9月)

鍬の扱い方の指導から。この時期は暑いため15時からスタートしました。鍬で畝づくりをしたのち、インゲン、白菜、キャベツ、ブロッコリー他数種類の植え付けを経験しました。運営する研修受入農家も入り混じって段取りや農作業を行いました。



収穫・金剛マルシェへの参加 (10月以降月1回、自由参加)

収穫した野菜は自宅で味わい、皆で感想を共有しました。自宅で食べる以上に採れた野菜や間引きした野菜は洗浄し袋詰めして「金剛マルシェ」で販売しました。受講生に素敵な看板を制作頂き、お客さんからたくさん声をかけて頂くようになりました。



地域活動への参加：もみ殻たい肥づくり (11月、自由参加)

平成8年から続く、地域の農家が共同で作る「もみ殻堆肥づくり」にも参加しました。有機物を地域で循環させる、SDGsに沿った取り組みを通じ良好な堆肥を作ります。



座学の様子 (12月～2月、月1回程度) (東先生の土の話／外部講師による講義)

土の性質や農法のこと、農業との環境との関係について座学の機会も設けています。大阪の農業の特徴や、農産物流通の基礎、地域の農家と一緒に学ぶ機会もあります。



農家研修 (1月からを予定、塾生自身で調整のうえ参加。回数制限なし)

懇親会や農家見学ツアーを経て、ご自身の関心に沿った農家研修に参加されています。



2. 研修プログラム

(5) 研修カリキュラム | 第1期・第2期の研修の様子②

その他技術研修（随時）

前述の農家研修と並行し、地域活動（もみ殻たい肥作り）や固有の栽培技術（接ぎ木苗の作り方等）、トラクター操作を学ぶ機会など様々な体験機会を設けています。



その他、先輩就農者との交流（随時）

第1期では先輩就農者のハウス建設を手伝う機会もありました。不定期ですが期を横断した懇親会を行うこともあります。



◆研修での学び方：研修への参加を検討されている方へ

季節や天候に応じ、日々変化する植物の様子からたくさんのことを学びます。特に前半は、毎週、そうした基礎農場での研修に取り組みながら、皆さんの興味・関心を深めて頂きます。

後半にかけて、プロ農家の見学をしたり、収穫した野菜をマルシェで販売したりしながら、地域との接点も自然と増えていきます。その中で就農意向が高まってきたら、技術習得（研修）の考え方を学びに行ったり、実際に体験・研修に入ったり、あるいはもう少し広い面積での栽培にチャレンジし、自身の適性（体力・技術・相性等）を検討してみたり…

農家が行う研修だからこそ、多様な機会を提供することができますし、第1~3期の運営を通じて私たちも自信を深めたところです。1年間という限られた時間ですが、行動するほどに、人生が変わるほどの学びがある場所だと思います。何かピンと来る方はぜひ、説明会・見学会にお越しください。



2. 研修プログラム

(6) プロジェクト（課外活動）の紹介

運営責任者のひと（り）言

これまで本塾に参加された50名超の方々を見ていて、皆さん、これまでのご経験やお持ちのスキル、生き方・考え方がとても多様であると感じています。塾生の皆さんからは、毎期、様々なご要望を頂き、それに応える中で、基礎研修・農家研修とは別に「プロジェクト（課外活動）」が立ち上がっています。その一部を以下ご紹介します。

(1) 中野町プロジェクト

指導あり

共同管理

協力：坂本屋

本塾の前身である「はじめの一步」村が実施されていた圃場で、その卒業生である受入農家の坂本耕一さんを中心に取り組んでいるプロジェクトです。基礎農場では、1作物あたり、数本から20本程度しか栽培しないため、もう少し大きな規模で栽培してみたいという声が塾生さんから上がりました。そこで、かつて同じ経験をした坂本さんが主導する形で、「収益を上げるために必要な規模感と作業量を学ぶ」ことをコンセプトに塾生さんの有志数名と一緒に取り組みを始めました。

現在は春～夏の期間にトウモロコシを栽培しています。セルトレイへの播種、定植、マルチ張り、追肥、収穫、出荷調整といった一連の作業に加え、除草管理や水管理、それに必要な草刈り機・エンジンポンプの操作方法なども学びます。安全な使用や操作の熟練には、やはり慣れが必要です。毎週1回の基礎研修やその日によって作業の異なる農家研修とは別に、黙々と作業の練習する場にもなっています。第1期の実施時には、この圃場のビニールハウス建設も体験できました。

収穫したトウモロコシは直売所で販売され、日々、売上データが共有されます。プロジェクト終了時には総売上高、本数やロス率といった販売データ、資材にかかった経費一覧、プロジェクトに稼働した時間等のデータを集計し、採算性を振り返ります。これらは経験は貴重なデータとなり、ご自身での栽培計画の検討に活用頂けます。



2. 研修プログラム

(6) プロジェクト（課外活動）の紹介

(2) チャレンジ農地

指導なし

共同管理

個人管理

協力：ナカスジ
ファーム

先述の中野町プロジェクトとはまた別に、基礎研修の個人区画（約40㎡）よりも広い、自身の力のみで管理・栽培する経験をしたという声もありました。

そこで受入農家の一人が管理する圃場の一部を、「チャレンジ農地」と名付けて研修用に供出してもらいました。希望した方には、基礎研修よりも広い面積の農地で何を、どれだけの量作るのか、そのためにいつ、何をしなければならないかを自分で考えてもらい、その計画を説明してもらいます。

農地を利用する事には責任が伴います。草管理を放っておけば、虫や病気の温床となり、近隣の農地利用者に対して迷惑をかけることとなります。また、隣接する水路の管理も重要で、一部が塞がってしまうと地域に整備された水路の利用者全体に不利益をもたらすこととなります。そうした農地利用に伴う水利の話、草管理の話、踏まえ、他の農地利用者にも迷惑をかけずに（地域に調和して）栽培を行うという意思のある方に限り、覚書を交わしたうえでチャレンジ農地での栽培機会を提供することにしています。

本塾の研修終盤から修了後にわたってチャレンジ農地で頑張られている方は現在10名弱おられます。お一人で管理される方もいれば、3人で共同管理する方もいらっしゃいます。自身の取り組まれたい農業の形が明確な方や、半農半Xを目指される方、もう少し時間をかけて自身の適性を見定めたい方々が、チャレンジ農地をご希望される印象です。

なお、チャレンジ農地は研修の基本プログラムに含まれているものではないため、希望される方は基礎研修や農家研修の際に、ご自身から身近の運営農家に相談してみてください。ご用意できるかどうかはその時々状況に左右されるので確実な約束はできませんが、計画と熱意と誠実さがある方に対してであれば、力になってくれると思います。



候補地の見学の様子



とあるチャレンジ農地の様子

(3) ブルーベリープロジェクト

指導なし

共同管理

協力：おおきに
アグリ株

こちらは第3期独自の取り組みになります。第1期の修了生さんで、ブルーベリーのポット栽培を進められていた方がおられるのですが、地主さんから農地の返還を求められ、栽培が継続できなくなりました。塾で活用して貰えないか、と連絡を頂きました。

その話を皆さんにしたところ、独立就農を目指す方がぜひ取り組みたいと挙手されました。現職の都合もありすぐに就農とはせず、1年間かけて半農半Xの形で栽培経験・圃場整備に取り組みつつ、お仕事・ご家族との調整や今後の見通しを立てながら、もう一年見極める期間を持つこととなりました。

栽培に必要な農地は、おおきにアグリ(株)に協力を仰ぎつつ、人手の面では同期の塾生さんに声をかけ、総勢10名ほどが関わりながら進められています。リーダーシップを取る人、可能な範囲で関わる人、現職のスキルを活かしながら貢献する人、新しい取り組みを（頭ごなしに否定せずに）温かく見守る受入農家、多様な関わり方を大切にしながら、今後の取り組みを注視していきたいと思っています。

2. 研修プログラム

(6) プロジェクト（課外活動）の紹介

一方で、入塾当初から一貫して専業農家を目指される方も每期2~3名いらっしゃいます。そうした方々にご提案している塾の活用法・修了後～就農までの過ごし方も、本塾の立ち上げ当初からブレずにむしろ改めておススメしたいと自信を深めています。以下、併せてご紹介させていただきます。

【専業農家（独立）を目指したい方へ】

この塾での学びの期間を含め、独立までに約4年間程かけて学ぶのが良いと思っています。

1年目「知る期間」

自身の適性や意向を明確にするために、1年間、畑に出続けて季節と植物の変化を理解する（基礎研修）。また、タイプの様々な農家を訪問・作業体験することで、基礎となる農業技術の定着や、時間・空間の使い方のイメージを深める（農家研修）。1年目に得た知見をもとに、自身の深めたい品種・営農スタイルを絞りこみ、2年目の雇用就農に進む。

2年目「深める期間」

研修先の農家で多様な作業を経験する。「やったことがある」レベルから「できる」「ポイントを理解し人に教えられる」レベルに至るよう、記録を取りながら学ぶ。「量をこなす」ことも大切な時期。

3,4年目「固める期間」

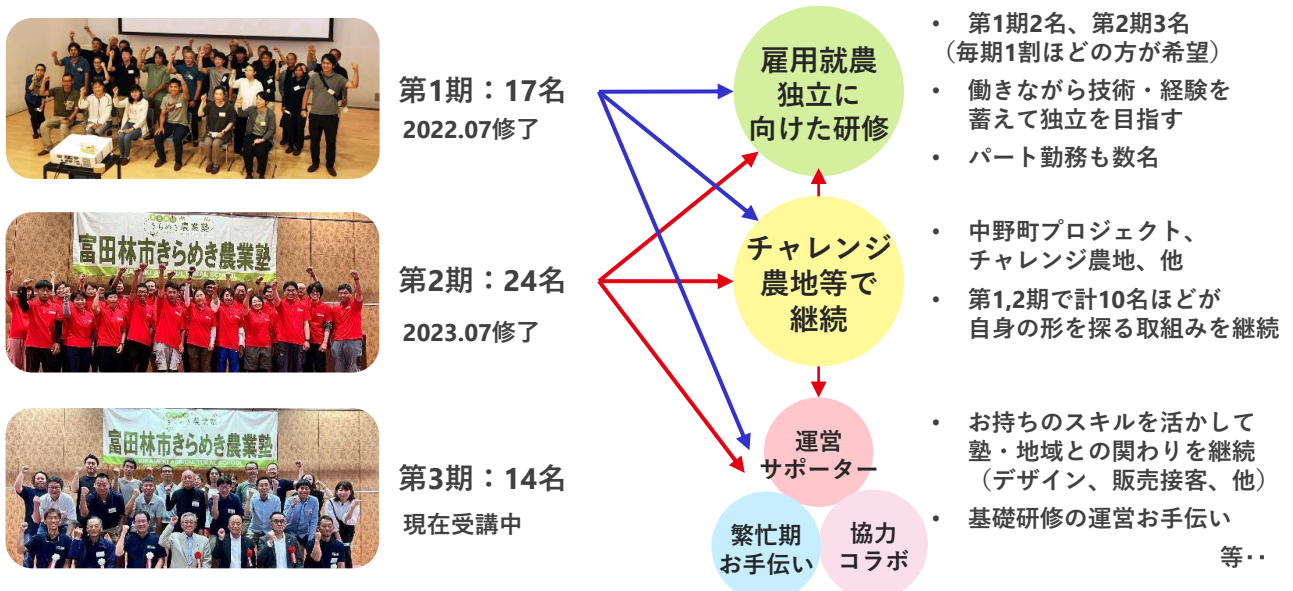
自身の農業経営で取り組みたい営農スタイルを固めていくための期間。研修先での学びに加え、自身の管理の下で管理できる一定面積の圃場を持ち、天候や品種、農法等の違いでどのような差が出るのかを自ら実験する。多数の不確定要素のある農業において、品質をコントロールするための「手法」を自分のものにする。独立後につながる地域との関係性も築く。

まとめ

雇用就農を目指して研修されている修了生の今後の活躍が楽しみですし、雇用就農だけでなく多様な形の「農」との関わりを模索されている皆さんにも、大きな刺激をもらっています。

研修自体は1年間ですが、修了後すぐにしか雇用就農等のチャンスがないわけではありません。じっくりと農との関わりを模索し深められる環境をご提供できると思います。

以上、入塾を検討されている皆さんの参考になれば幸いです。



研修受入農家の紹介

見学・体験等 研修受入農家（就農年数順）

富田林市の農業を創造する会に所属する農家のうち以下の農家にて見学や体験、実地研修に入ることができます。受入農家によって栽培品目や経営スタイルが異なるため、各農家のプロフィールページの内容を参考にしながら、研修先の検討にお役立てください。

No.	屋号	氏名	年齢	年数	営農地区	栽培品目（品目・時期等）	従業員数
1	なの花畑	東幸一	70代	57年	佐備地区	少量多品目	家族のみ 3名
2	川角農園	川角勇司	60代	29年	西板持地区	ナス、キュウリ、米	妻とパート2名
3	ナカスジファーム	中筋秀樹	40代	28年	西板持地区	ナス、キュウリ、海老芋 他少量多品目20種類ほど	約40名 (うち外国名13名)
4	乾農園	乾裕佳	40代	27年	西板持地区	ナス、キュウリ、海老芋、米	正社員3名、パート5名、 外国人実習生4名
5	アーバンファーム ASAOKA	浅岡弘二	50代	26年	西板持地区	ナス、キュウリ、海老芋 トマト他多数	正社員2名、パート5名 研修生1名
6	南農園	南信宏	40代	23年	佐備地区	イチゴ、ナス、キュウリ、 米、その他多品目	家族2名、従業員1名 パート2名
7	FarmRiders 浅岡農園	浅岡敬勝	40代	21年	西板持地区	ナス、キュウリ	家族3名 正社員1名 パート社員6名
8	古川農園	古川雅英	40代	21年	龍泉地区	ナス、キュウリ、トマト	従業員3名、パート5名
9	ベジタブルファーム マルヤマ	丸山友規	40代	20年	河南町	トウモロコシ、トマト、ズッキーニ、 オクラ、その他	従業員1名
10	辻農園	辻 晃司	30代	19年	西板持地区	ナス、キュウリ、海老芋	外国名実習生3名 パート4名
11	辻田農場	辻田陽平	40代	18年	別井地区	ナス、キュウリ	家族 4名
12	ブルーベリー畑 まーるいかんぱにー	山本真佐人	30代	17年	彼方地区	ブルーベリー、ナス、海老芋 加工品、観光農園（夏）	正社員2名、パート3名
13	西田農園	西田和敬	40代	16年	西板持地区	ナス、キュウリ、露地ナス、 トウモロコシ、白ネギ	家族3名、パート3名
14	ファームスギモト	杉本一義	40代	12年	大伴地区	あのみり茄子、キュウリ、 トマト、他季節の野菜・果物	正社員6名、パート6名
15	Re:フレッシュガ ーデン	石田智寛	20代	10年	西板持地区	ナス、キュウリ、トマト、 米、タマネギ、イチゴ	5-6名
16	zelda	加山 渉	50代	9年	龍泉地区	露地野菜を主とする多品目栽培	本人のみ
17	まるさんふぁーむ	浦田三織	30代	8年	甲田地区	青ネギ（周年） 大根、ブロッコリー その他	1名
18	しばふぁーむ	浦田大志	40代	7年	甲田地区	ミニトマト、きゅうり、ミニ イチジク、菜花、わさび菜	無
19	agri art (アグリアート)	山本章太	20代	6年	西板持地区	ナス、キュウリ、イチゴ	5名
20	笑ノ百姓	中塚和典	40代	6年	錦織地区	年間80品種ほどの露地野菜	本人と妻、パート3名
21	健土農園 布留豊饒 (ふるほうじょう)	清水裕之	50代	6年	彼方地区	通年で約20品目	本人のみ
22	坂本屋	坂本耕一	40代	6年	中野町	春夏：茄子やトウモロコシ 秋冬：ズッキーニ、その他	本人のみ
23	尾崎ストロベリー ファーム	尾崎 誠	50代	6年	河南町	イチゴいちご（高設栽培）	本人のみ
24	農園 陽ノ丸（ひの まる）	橋中陽平	40代	6年	佐備地区	通年でミニトマト、春夏は果 菜類、秋冬は根菜・花蕾他	本人のみ

研修受入農家の紹介



東 幸一（ひがし こういち）

富田林市きらめき農業塾 基礎研修農場長
70代 / 57年目

菜の花畑 代表

就農地域	富田林市佐備地区
栽培品目 (品目・時期等)	少量多品目
従業員数	家族のみ3名
経営形態	個人（菜の花畑）
栽培方法・ こだわり	有機を中心として年間通して栽培しています。
受入実績	「なの花畑」にて10数年研修を受け入れてきました。 ※基礎研修農場での指導講師を務めます
研修方針	研修生と相談の上決定します。 相談事があれば、基礎研修農場におこしください。
研修設計の 考え方	基礎研修として週1回の指導を行います。 それ以外で質問がある場合は随時相談に乗ります。
その他特記事項	富田林きらめき農業塾 基礎研修農場長 大阪府「農の匠」（現在は引退） 参考記事：大阪府「新規就農者を支援！サバーファームで農の雇用事業研修生を対象に研修会を開催」 http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/f_katudou_2010_4.html

研修受入農家の紹介



川角 勇司（かわすみ ゆうじ）

60代 / 29年目

川角農園 代表

就農地域	富田林市西板持地区
栽培品目 (品目・時期等)	1～7月 施設ナス 8～12月 施設キュウリ 5～10月 米
従業員数	妻とパート2名
経営形態	個人（川角農園）
栽培方法・ こだわり	ナスは4本仕立て栽培と放任栽培。 キュウリは2品種同時栽培。 お米は※ヒノヒカリを栽培。
受入実績	大阪府「はじめての一步」村研修生の受入
研修方針	懇切丁寧な指導を行いたいと思っております。
研修設計の 考え方	1～7月 施設ナス 8～12月 施設キュウリ 5～10月 米
その他特記事 項	当農園は妻とパート2名の家族経営です。 小規模ですのでアットホームな環境で仕事ができます。 参考記事：京橋経済新聞「京橋で大阪なすづくしの会 食材を生かしたフル コースに感嘆の声」 https://kyobashi.keizai.biz/headline/1799/

研修受入農家の紹介



中筋 秀樹（なかすじ ひでき）

富田林市きらめき農業塾 運営責任者／新規就農サポートデスク
40代／28年目 大阪府「農の匠」

ナカスジファーム 代表／おおきにアグリ株式会社 代表取締役

就農地域	富田林市西板持地区 石川、佐備川に囲まれており水が豊かで農業が盛んな地域です♪
栽培品目	10種類の茄子、キュウリ、海老芋他少量多品目20種類ほど 茄子 周年／胡瓜 4月～8月,8月～12月／海老芋5月～3月／その他野菜 周年
従業員数	約40名（うち外国人研修生は14名います）
経営形態	個人としてはナカスジファームの代表を、 法人としては「おおきにアグリ株式会社」の代表取締役を務めています。
栽培方法・こだわり	栽培においては、正しい知識で安心安全な野菜をお届けすることを第一に考えています。慣行栽培でありながら、有機栽培の知識・方法論を基本に据え、必要に応じて化学肥料を使うという考えを持っています。結果的に農薬使用が少量で済むような予防的な農薬使用、という考え方です。理想と現実のバランスをとりながら、「品質と収量の安定」に重点をおいた生産体制を追及しています。
受入実績	随時、受け入れを行っています。現在も数名の研修生がいます。 これまでもナカスジファームで研修し、独立就農した方は10名程度おられます。
研修方針	これから農業をやっていこうと研修に入られた方に対しては、独立就農にしても雇用就農を目指すにしても、今後なんらかの形で関わっていける関係性を築くことを大切に考えています。 研修生には、まずは農業で食べていけるための「型」を、できれば5年程度の時間をかけて目指してほしいと思っています。その基本があってこそ、自身が目指す農業を実現するための力が備わると思いますし、その基礎体力を、ナカスジファームで学んでもらえたらと思います。（研修期間や内容については相談の上、決めていきましょう）
研修設計の考え方	★専業農家、一種兼業農家として独立を目指す方にお勧めです★ 今後、農地の担い手として一定の規模を有する、雇用の農業を目指す方に沿った研修を想定しています。 これまでに研修生が研修、独立、自立していく様子から、一人前として自立できるまでの研修時間は約10,000時間程度必要だ、との考えを持っています。研修生から一人前の農家にレベルアップするための足腰の強さを、時間をかけて磨くことで、その後の伸びが大きく変わると考えています。年間2,000-2,500時間の研修（勤務）を4~5年取り組んで10,000時間の学びを基礎に据えることで、相当な経験と自信、対応力が身に付くと思います。 詳しくはぜひ一度、農家研修にお越しください。
その他特記事項	富田林ブランドでもある「大阪なす」をメインに、10種類ものナスを同時に栽培しています。都市農業は農地面積の制約により規模が大きくなりにくいのですが、その中では珍しく40名ものスタッフで農園を営んでいるのが特徴です。「『農』を志す我々が農業のあるべき姿を創造する」を理念に掲げ、自身、スタッフ、地域が農業で笑顔になる未来を築いていけるように日々奮闘中です。

研修受入農家の紹介



乾 裕佳（いぬい ゆか）

新規就農サポートデスク
40代 / 27年目 大阪府「農の匠」

乾農園 代表 / おおきにアグリ株式会社 取締役

就農地域	富田林市西板持地区
栽培品目 (品目・時期等)	3月～7月初旬(施設ナス)、9月～12月(施設キュウリ) 7月～9月(露地ナス)、11月～12月(海老芋)、米
従業員数	正社員3名、パート5名、外国人実習生4名
経営形態	個人(乾農園)
栽培方法・ こだわり	慣行栽培で、安定した収量を維持することを目指し、ナスの長期栽培を行っています。 また地域特産の海老芋の栽培にも重点を置いており、現在はブランド化にも取り組んでいます。
受入実績	大阪府「はじめの一步」村修了生のほか、辻調理師学校や大阪府の農業大学校からも実習受け入れ先として研修受け入れを行ってきました。
研修方針	主にナス、キュウリ、海老芋が中心になります。 基本的な作業(定植・管理・収穫・出荷)に加え、農産物の価値引き出して伝えるポイントなど、販売方法(買い手とのコミュニケーション)についても指導していきます。 また、農作業以外にも、行政に提出する書類の整理や事業収支に関する事務処理など、農業経営を持続していく上での必要なことについても指導し、独立に向けたサポートをしていきます。
研修設計の 考え方	他の農家さんとも同じかもしれませんが、まずは一つ一つの作業の定着に時間をかけます。特に農繁期は収穫などは、同じ作業を繰り返す日々ですが、それは必要な時間だと思っています。 手を動かすことに慣れ、同時に目や頭も動かせるようになってきたら、一つ一つの作業の位置づけや意味、ポイントなどを伝えながら、質を高められるよう指導していきます。 一年間の仕事の流れを理解し、2年目以降は自分で作業設計できるような状態を目指していきましょう。
その他特記事項	元々は家族経営の小規模農家でした。徐々に面積を拡大し、現在では施設1ha、露地1.2haを栽培するまでになりました。 また、JGAPの取得も完了し、スタッフがそれぞれ責任を持ちながら作業に当たっています。農産物だけでなくその過程にも責任が求められる時代ですので、GAPを通じた労働環境・生産環境の維持・整理の仕方についても適宜指導していきますね。 参考記事：やるやん！大阪農業「歴史を背負い、大家族で営む海老芋。」 https://yaruyan.osaka/772/

研修受入農家の紹介



浅岡 弘二（あさおか こうじ）

新規就農サポートデスク
50代 / 26年目

アーバンファーム ASAOKA 浅岡農場 代表
株式会社アーバンファームASAOKA 代表取締役
富田林市海老芋振興協議会 会長

就農地域	富田林市西板持地区
栽培品目 (品目・時期等)	<p>【施設栽培】 ミディトマト（9月～6月）、トマト（10月～6月）、大阪なす（12月～7月）、大阪キュウリ（8月～12月）、フルーツトウモロコシ（3月～6月）、スイカ（3月～6月）</p> <p>【露地、雨除け栽培】 海老芋（4月～12月）、露地ナス（6月～9月）、雨除けトマト（5月～9月）、雨除けキュウリ（5月～9月）</p>
従業員数	正社員2名、パート5名 研修生1名 心優しいボランティア若干名
経営形態	個人（アーバンファーム ASAOKA 浅岡農場）、法人（株式会社）
栽培方法・ こだわり	<p>当園では『土作り』に徹底的にこだわっています。良い土には良い根が張り、良い根が張れば良い樹がなり、良い樹がなれば良い実がつく…この単純明快な論理を実践しています。</p> <p>基本的に、土には植物性の堆肥しか入れず、肥料は魚のすり身（内臓入り）、海藻、カニ殻、珊瑚化石、海鳥の糞など、海にまつわる資材を多く用いています。独自にブレンドした肥料を作物毎に使い分け、旨味のある野菜作りを目指しています。</p>
受入実績	俺を踏み台に独立就農した人4名 (うち1名は西板持地区でナス・キュウリで独立就農)
研修方針	<p>現在、新規就農を目指す人を対象とする『ASAOKA method』を作成中です。1年間、3年間、5年間の研修プログラムで、研修終了後に農園を運営出来る能力を身につけて貰う事が目標です！</p> <p>メソッド作成に協力してくれる方を随時募集しておりますので、ご興味と根性のある方はよろしくご願ひ致します。</p>
研修設計の 考え方	<p>研修の目的に沿って、その都度あったプランを検討し提案します。</p> <p>例えば3年後にトマト農家を目指すというのであれば、それを可能とする研修プランを作成します。また新規就農に向けてのサポートも出来る範囲で致します。</p> <p>ただし！ご本人がやる気に満ち溢れていることが絶対条件となりますので、ご了承ください。</p>
その他特記事項	<p>『大阪No.1品質・ASAOKAプライド』をスローガンに、高品質な野菜作りを心がけています。『感動野菜宣言！』をキャッチフレーズに、お客様に「美味しい」と「感動」をお届け出来るように販売していくことを心がけています。</p> <p>※その他※ 品評会入賞多数、メディア取材多数、経営破綻寸前 数回……</p> <p>今回、新規就農を目指す皆さんから色々な事を学ばせて頂きたいと思っております。見た目は怖いかも知れませんが、遠慮なく気軽にお声がけ下さい(^^) 参考記事：やるやん！大阪農業 「多彩な、大阪なすPRプロジェクトのリーダー。」 https://yaruyan.osaka/307/</p>

研修受入農家の紹介



南 信宏（みなみ のぶひろ）

新規就農サポートデスク
40代 / 23年目

南農園 代表 / 富田林市の農業を創造する会 副会長

就農地域	富田林市佐備地区
栽培品目 (品目・時期等)	イチゴ(通年)・ナス(2~7)・キュウリ(8~12) 水稲・その他多品目
従業員数	家族2名・従業員1名・パート2名
経営形態	個人(南農園)
栽培方法・ こだわり	イチゴ、ナスをメインに年間約50品目の作物を栽培しています。 その為品目であっても植え付け時期をずらすなど、販売時期が長くなるようにしながら工夫しています。 市場出荷メインの農家とは少し栽培方法等異なります。
受入実績	大阪府「はじめの一步」村研修生の受入
研修方針	その時期に栽培する季節野菜の管理など広く修得する。
研修設計の 考え方	研修生と相談の上決定します。
その他特記事項	自社直売所で販売も行うため多品目栽培になっています。 施設野菜、露地野菜、水稲、果樹と多岐にわたり消費者と直接つながる農業をしています。 参考記事：やるやん！大阪農業「農業って、実は面白い、儲かる、希望も持てる。」 https://yaruyan.osaka/2099/

研修受入農家の紹介



浅岡 敬勝（あさおか たかかつ）

新規就農サポートデスク
40代 / 21年目

FarmRiders 浅岡農園 代表
富田林市の農業を創造する会 会長

就農地域	富田林市西板持地区
栽培品目 (品目・時期等)	1月～7月 大阪なす 8月～11月大阪きゅうり
従業員数	家族3人 正社員1人 パート社員6人
経営形態	個人（FarmRiders 浅岡農園）
栽培方法・ こだわり	ビニールハウスを利用した半促成栽培、抑制裁培を行っています。 また、自家製堆肥を使用し土づくりにこだわっています。
受入実績	随時、受け入れを行っています。 大阪府の事業「はじめの一步」村の1期、2期の修了生も研修しています。
研修方針	今年度は研修生のメインの受入先としては対応が難しいかもしれません。
研修設計の 考え方	まずは、ビニールハウス内での野菜の管理作業の習得を第一に考えています。
その他特記事項	参考記事：やるやん！大阪農業「水は金剛山の恵み、土はたい肥から作る。」 https://yaruyan.osaka/2617/

研修受入農家の紹介



古川 雅英（ふるかわ まさひで）

40代 / 21年目

古川農園 代表

就農地域	富田林市龍泉地区
栽培品目 (品目・時期等)	ナス、キュウリ、トマト
従業員数	従業員3名、パート5名
経営形態	個人（古川農園）
栽培方法・ こだわり	古川農園では生産に特にこだわります。 誰かに必要とされ、欲しいと言ってもらえる野菜づくりに全力を注ぎます。 変わりゆく自然環境や社会情勢、日々成長していく農産物と向き合いながら、愛情をもって野菜の栽培に取り組んでいきます。
受入実績	なし
研修方針	丁寧な野菜作りを指導します。
研修設計の 考え方	研修生と相談の上決定します。
その他特記事 項	<p>「空気」大阪でありながら雄大な自然に囲まれています。 「水」金剛山から流れる水の恵みを受けています。 「土」もみ殻堆肥を基本とした土づくり、リサイクル堆肥の活用など継続可能な循環型の農業を目指しています。 「光」大型の施設栽培でありながら光の透過率が高いフィルムを使用することで、自然に近い状態で野菜を栽培しています。 「人」優秀な人材を育成、活用することで地域社会に貢献します。</p> <p>参考記事：やるやん！大阪農業「農で、個を表現する。やりたいからやる、歌う農人。」 https://yaruyan.osaka/2594/</p>

研修受入農家の紹介



丸山 友規（まるやま ともりの）

40代 / 20年目

ベジタブルファームマルヤマ 園主

就農地域	河南町
栽培品目 (品目・時期等)	施設野菜（トマト、ズッキーニ、パプリカなど） 露地野菜を年間20品目程度栽培 その他、家業として水稻の収穫、乾燥糲摺り業も行っています
従業員数	2名
経営形態	個人
プロフィール 栽培方法・ こだわり	「道の駅かなん」をはじめとした直売所やスーパーとの取引など、市場を通さない販売を基本にしています。 また、ビニールハウスを自社で設営することでコストカットを図っています。
受入実績	あり
研修方針	(準備中)
研修・体験で きる内容	
その他特記事 項	参考記事 大阪農業情報ポータルサイト「大阪で農業っておもしろいよん」 「世界最先端、オランダ式農業を大阪で実践。」 https://omoroian-ja.osaka/yaruyan/farmers/1094/

研修受入農家の紹介



辻 晃司（つじ こうし）

30代 / 19年目

辻農園 代表

就農地域	富田林市西板持地区
栽培品目 (品目・時期等)	施設ナス 1月～7月 露地なす 5月～10月 施設キュウリ 8月～12月 海老芋 5月～12月
従業員数	外国人実習生3名 パート4名
経営形態	個人（辻農園）
栽培方法・ こだわり	有機肥料にこだわり、収穫量の上がる栽培にこだわっています。
受入実績	1人
研修方針	うちの農園で、今栽培している野菜を管理研修してもらい、1人立ちできるくらいになればと思います。
研修設計の 考え方	なす 2月中旬～7月中旬 キュウリ 9月中旬～12月中旬 6月下旬～10月上旬 海老芋 10月下旬～12月末 冬野菜 10月下旬～1月末
その他特記事項	辻農園ではハウス60aのなす、キュウリを栽培しており、パートさんと研修生を受け入れて作業をしております。僕は、生産が好きな為、自分でこだわり納得のいく分を生産しております。最近はいろんな野菜を作って皆さんに喜んでもらえる野菜作りをしています。

研修受入農家の紹介



辻田 陽平（つじた ようへい）

40代 / 18年目

辻田農場 代表

就農地域	富田林市別井地区
栽培品目 (品目・時期等)	ナス、キュウリ
従業員数	家族のみ4名
経営形態	個人（辻田農場）
栽培方法・ こだわり	種まきから（苗作りから）、全て自分で行っています。
受入実績	大阪府「はじめての一步」村研修生の受入
研修方針	研修生と相談の上決定します。
研修設計の 考え方	キュウリの接ぎ木は現在私のところのみなので、研修受け入れいたします。
その他特記事項	参考記事：お野菜さん.com「新規就農「はじめての一步」村 現地レポート②」 https://www.oyasaisan.com/ippo2/ 参考記事：大阪府「河内っ子・軟弱野菜研究会と富田林市4Hクラブが交流会を開催」 http://www.pref.osaka.lg.jp/chubunm/chubu_nm/fq_katudou_25_1.html

研修受入農家の紹介



山本 真佐人（やまもと まさと）

30代 / 17年目

ブルーベリー畑 まーるいかんぱにー 代表

就農地域	富田林市彼方・板持地区
栽培品目 (品目・時期等)	ブルーベリー、ナス、エビイモ 加工品、観光農園（夏）
従業員数	正社員2名、パート3名
経営形態	個人（ブルーベリー畑 まーるいかんぱにー）
栽培方法・ こだわり	自分がやりたい、楽しそうと思うことを積極的に取り入れる経営方針。 自分の子供に安心して食べさせられないものを作らない、売らない。
受入実績	大人：短期10人ぐらい、長期2人 学生（子供）：100～200人ぐらい
研修方針	地元の子供たちや学生さんの研修はできる限り引き受けます。 大人の方は、やる気のある方のみ引き受けます。（本気度）
研修設計の 考え方	子供達には楽しさを、大人にはできる限り農業の厳しさを教える。
その他特記事 項	小さいけどおもしろい農園を目指しています。 自社HP： https://yamamasanouen.com/maruikanpaney/ 参考記事：地域密着型ポータルサイト「らくうえる。」 http://www.rakwell.com/pickup/1444/

研修受入農家の紹介



西田 和敬（にしだ かずのり）

40代 / 16年目

西田農園 代表

就農地域	富田林市西板持地区
栽培品目 (品目・時期等)	なす きゅうり 露地なす その他：とうもろこし、白ネギ
従業員数	家族3名、パート3名
経営形態	個人
プロフィール 栽培方法・ こだわり	農作物を育てる上で大切なのは「土づくり」だと思います。 土壌の酸度を調整し、有機物（もみ殻堆肥、緑肥など）を入れてふかふかの土を作ります。 西田農園では、この土づくりにこだわり、栄養バランスが良い土で農作物を育てるようにしています。
受入実績	まだありません（第3期より受入農家の一員）
研修方針	（準備中）
研修設計の考え方	研修生と話し合いの上決定します。
その他特記事項	

研修受入農家の紹介



杉本 一義（すぎもと かずよし）

新規就農サポートデスク
40代 / 12年目

ファームスギモト 代表
農事組合法人 農-みのり 代表理事

就農地域	富田林市大伴地区
栽培品目 (品目・時期等)	あのみのもり茄子、キュウリ、大・中玉トマト、ズッキーニ、スティックセニョール、カリフローレ、あじまるみ大根、枝豆等、季節の野菜。無花果、いちご、シャインマスカット、クィーンセブン、ベビーキウイ、桃、ブルーベリー、あけび等、季節の果物。
従業員数	正社員6名、パート6名
経営形態	個人（ファームスギモト）
栽培方法・ こだわり	慣行栽培に比べ、農薬・化学肥料を50%以上カットした「大阪府エコ農産物」認証に基づく栽培を行っています。 農家としてのこだわりは持っていますが、消費者にとっての「手軽さ・手ごろさ」とのバランスを重視しています。足し算より引き算の栽培を心がけています。
受入実績	研修を終え新規就農で2名独立しました。
研修方針	私自身、土木や調理、営業など様々な職を経て就農した経緯があり、地域では後発農家ゆえに「売る」ことを念頭に経営を組み立てることが大切だと考えています。 そのため、基本的な栽培技術はもちろんですが、販売までを意識した指導を行うことと、その先に「自分の農業の形」を探すことも忘れずに取り組んでほしいと思います。
研修設計の 考え方	農業の基本となる技術・知識は日々現場で指導しながら、さらに以下の3点 ・作付けの品目品種の選び方 ・戦略的栽培方法 ・販売戦略 について考えを深められるよう、私の考えを伝えながら、独立に向けて研修生に問いかけをしていきたいと思っています。
その他特記事 項	地域貢献、福祉活動、農業体験受け入れ、独立支援など、結構さまざまなことをやってみています。 皆で一生懸命、厳しく、楽しく、働く仲間の集まりです。釣り、ボーリング大会、バーベキューもします！ 参考記事：近畿農政局「地域を引っ張る若手農業者のリーダー的存在！！」 https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/osaka/2019phot/40_tondabayashi/farmsugimoto.html

研修受入農家の紹介



石田 智寛（いしだ ともひろ）

20代 / 10年目

Reフレッシュガーデン 代表
富田林市4Hクラブ 代表

就農地域	富田林市西板持地区
栽培品目 (品目・時期等)	ナス、キュウリ、トマト、米、タマネギ、イチゴ
従業員数	5-6名
経営形態	個人（Reフレッシュガーデン）
栽培方法・ こだわり	美味しさ、味を追求しています。
受入実績	まだ受入経験はありません。
研修方針	
研修設計の 考え方	語れるほどの実績はまだありませんが、楽しい農業をお教えします！
その他特記事項	SNSはインスタのみやっています。 参考webページ：Instagram Reフレッシュガーデン https://www.instagram.com/refleshgarden/

研修受入農家の紹介



加山 渉（かやま わたる）
50代 / 9年目
zelda 代表

就農地域	富田林市龍泉地区
栽培品目 (品目・時期等)	露地野菜を主とする多品目栽培 夏:万願寺ししとう、ズッキーニ、なすなど 冬:ブロッコリー、キャベツ、人参など
従業員数	本人のみ
経営形態	個人
プロフィール 栽培方法・ こだわり	有機栽培の考え方をベースにして、野菜がおいしく、かつ健康に育つように取り組んでいます。
受入実績	なし（第3期より受入農家の一員）
研修方針	自身の経験に基づいて、日々の農作業や半農半X、農のある暮らしなどそれぞれのライフスタイルにあった農業との関わり方をお伝えできたらと思います。
研修・体験で できる内容	
その他特記事項	農業をやるかたわら、料理人もしていますので、時間も限りありますが、ご協力させていただきます。 zelda Facebookページ https://www.facebook.com/zeldaosaka

研修受入農家の紹介



浦田 三織（うらた さおり）

新規就農サポートデスク
30代 / 8年目

まるさんふぁーむ 代表
富田林市の農業を創造する会 会計 / 女性部会 会計

就農地域	富田林市甲田・彼方地区
栽培品目 (品目・時期等)	青ネギ（周年） 大根、ブロッコリー その他需要があれば
従業員数	一人
経営形態	個人（まるさんふぁーむ）
栽培方法・ こだわり	化学肥料はなるべく使わず。 ただ、野菜たちに必要であれば使う。 すべては、野菜を出荷して、きれいでおいしい青ねぎをつくるために出来ることをする。
受入実績	大阪府「はじめの一步」村研修生の受入
研修方針	大農家、家族農家など、これまでたくさんの農家さんにお世話になりました。その時学んだ事、感じた事、見た事、私自身がどうしたいか考えた事、伝えていきたいです。
研修設計の 考え方	研修生と相談の上決定します。
その他特記事項	一人で考え、一人で決め、一人で行いたい…いわば「ぼっち農業」ともいうべき経営です。 一方で、農家の皆さんにたくさん相談し、お世話になってきた経験から、これから就農を目指す方の悩みと解決の糸口も蓄積されている（はず、な）ので、サポーターとしても頑張ります！ 参考記事：やるやん！大阪農業「畑に出ます。いいものは畑に出ないと作れないから。」 https://yaruyan.osaka/3241/

研修受入農家の紹介



浦田 大志（うらた たいし）

新規就農サポートデスク

40代 / 7年目

しばふあーむ 代表

就農地域	富田林市甲田地区、熊取町
栽培品目 (品目・時期等)	ミニトマト、きゅうり、ミニイチジク、菜花、わさび菜
従業員数	1人
経営形態	個人（しばふあーむ）
栽培方法・ こだわり	ミニトマトのおいしさにこだわっています。 バーク堆肥を使い、微生物の働きによる土作りにこだわり、トマト本来のうまみを引き出しています。
受入実績	なし
研修方針	私自身、まだまだ人に農業を教えるような立場ではありませんが、WEBを使ったマーケティングの話ならできるかもしれません。
研修設計の 考え方	研修生と相談の上決定します。
その他特記事項	WEBを使ったマーケティングの中でもYouTubeがうまくいった例として、農家のみなさんや、これから農業をする方のお役に立てると思います。 自社HP： https://sivajapan.jimdofree.com/ 参考記事：やるやん！大阪農業「新しい都市農業のカタチをめざす「本当においしいもの届けます」。」 https://yaruyan.osaka/2991/

研修受入農家の紹介



清水 裕之（しみず ひろゆき）

新規就農サポートデスク
50代 / 6年目

健土農園 布留豊饒（ふるほうじょう）代表
おおきにアグリ株式会社 取締役

就農地域	富田林市彼方地区
栽培品目 (品目・時期等)	通年で約20品目
従業員数	本人のみ
経営形態	個人 / 週末農業 市民農園1年経験の後「はじめの一步村」研修を経て、大阪市内で物流関連業を続けながらの週末農業を富田林で開始。
栽培方法・ こだわり	ノンケミカルの露地栽培を行っています。いわゆる自然栽培や自然農法と呼ばれる範疇の栽培方法ですが、イデオロギー的な固執は全くありません。わたし自身が考える安全安心のガイドラインに沿い、必要に応じて最小限の有機質肥料や天然由来の土質改良素材を使用しています。省力化のためにビニール資材も使いますし、美味しければF1種も栽培します。
受入実績	なし
研修方針	限られた時間の中で無理なく少量多品目を栽培し、「仕事のひとつ」と言えるレベルまで収益を上げて行く方法や、自身の体力・氣力に沿った持続可能な農業の手段を共に考えていければと思います。
研修設計の 考え方	「やや大きめの家庭菜園」規模ということもあり、現在は専門的な作業を伴う研修は特に行なっておりません。マルシェ等での少量販売をベースとした半農半X的なやり方や、自然栽培&自然農の種取り～収穫までの流れ、小規模ならではのマニアックな栽培方法などのお話はできるかと思っています。
その他特記事項	一昨年からきらめき農業塾1期生3名と共同で農園を運営しています。それぞれの区画に個性があり（マニアック、手抜きw）なかなか面白い圃場です。週末農業や家庭菜園指向の方の参考にはなりますので、ご興味のある方は見学に来てください。

研修受入農家の紹介



山本 章太（やまもと しょうた）

20代 / 6年目

アグリアート 代表

就農地域	富田林市西板持地区
栽培品目 (品目・時期等)	茄子1月～7月 胡瓜8月～12月 苺9月～5月
従業員数	5名
経営形態	個人（アグリアート）
栽培方法・ こだわり	色々試せる環境 ステップアップできる環境
受入実績	和歌山農大、兵庫農大の学生
研修方針	ゴールを決め、目標への道筋が見える研修になるようにしたいと思います。
研修設計の 考え方	背景、目的、ゴールを決めて一緒にサポートしていきます。
その他特記事 項	<p>試行錯誤しながら、のびのび学んでいく環境を提供します。</p> <p>参考記事：大阪府立 環境農林水産総合研究所 農業大学校 http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/noudai/guide/page007.html</p> <p>参考webページ：Instagramアグリアートいちご園 https://www.instagram.com/aguriart/?hl=ja</p>

研修受入農家の紹介



中塚 和典（なかつか かずのり）

40代 / 6年目

笑ノ百姓 代表

就農地域	富田林市錦織地区
栽培品目 (品目・時期)	年間200品種ほどの露地野菜
従業員数	農園主と妻、パートさん3名
経営形態	個人事業主（笑ノ百姓）
栽培方法・ こだわり	「有機栽培」という以外にはこだわりすぎないことをこだわりとしています。 笑ノ百姓では農薬、化学肥料を一切使わず少量多品目で野菜を育てています。 その中から季節にあった旬の野菜を詰め合わせて年中野菜を切らすことなく直接お届けしています。 旬の野菜を栽培することを心がけていますので夏野菜を冬にお届けすることはできませんし農薬を使わないので冬野菜を夏にお届けすることもできません。 その野菜を最も美味しく食べることができる季節に栽培することが有機栽培の基本だと考えます。
受入実績	援農ボランティア随時受入中（週2~3名ほど毎週こられてます）
研修方針	日々行っている播種、定植、管理作業、収穫、出荷作業、機械の操作、畑の片付けや資材の整理、事務処理、新規就農者にまつわる給付金や補助金手続きなど僕自身が就農前に知りたいと思っていた事を伝えていければと思います。
研修設計の 考え方	こちらの進めている作業に研修が合わせて頂くことになるので、研修内容は日々変わりますし作業内容に一貫性が無くなりそうな気がするので、出来るだけその日の作業の前後に起こることを説明、実施しながら有機栽培の一連の流れを掴んでもらえるよう取り組みます。 また、通年野菜を出荷し続けるコツや技術、栽培計画の立て方などの技術指導や有機栽培で生計を立てるにはどうしたらいいか一緒に考えていければと思います。
その他 特記事項	僕自身、令和元年5月に新規就農したばかりの駆け出し農家です。 その点、農家として長く営農されている先輩農家さん達よりも立ち位置としては研修生の皆さまと限りなく近いと思います。新規就農者がどのような経緯で現在まで至っているのか、また新規就農者のものがきっぷりを垣間みる事が出来ると思います。 参考記事：朝日新聞デジタル「手作り野菜の味に驚き、農家になった夫婦 ひらめいたスタイルとは」2022年3月12日 https://www.asahi.com/articles/ASQ3C6D7PQ3BPPTB00H.html 参考記事：地域密着型タウン情報ポータルサイトらくうえる。 「野菜を通じ、日常にささやかな微笑みを届けたい。目指すのは小さくともオンリーワンの農家」 http://www.rakwell.com/pickup/7657/ Instagram：eminohyakusyo https://www.instagram.com/eminohyakusyo/

研修受入農家の紹介



坂本 耕一（さかもと こういち）

40代 / 6年目

坂本屋 代表

富田林市の農業を創造する会 副会長

就農地域	富田林市中野町
栽培品目 (品目・時期等)	春夏：ふわとろ長茄子、千両茄子、トウモロコシ 秋冬：ズッキーニ、トウモロコシ その他
従業員数	本人のみ
経営形態	個人（坂本屋）
栽培方法・ こだわり	<p>「良い茄子」を安定して作れる技術を、私も学んでいる最中です。</p> <p>富田林の茄子は昔から「千両なす」が中心ですが、他にも「色ナス」という、形や色、味の違う個性的な茄子がたくさん作られています。その中でも私は「ふわとろ長茄子」の魅力にひかれ、それを中心に栽培しています。</p> <p>また今年から、伝統ある「千両なす」も栽培を始めました。 これから農業に関わる皆さんにも教えられるように、一足先にしっかり学んでおきます。</p>
受入実績	受入農家としての単独で受け入れはありませんが、第1-3期の皆さんとは中野町で約2反の農地を活用した栽培プロジェクトに取り組んでいます。
研修方針	私自身、この塾の前身「はじめの一步」村がきっかけで富田林で農業をするに至りました。市外の人間にもかかわらず先輩方が熱心に教えて下さったことを、次の世代の皆さんにつないでいけたらと思います。
研修設計の 考え方	ささいなこと、聞きたいけど聞けないことなど、遠慮なく聞いてもらえたらと思います。よろしくお願いします。
その他特記事項	新しい方々が参加しやすい／地域になじみやすいような道を作れたらと思います。

研修受入農家の紹介



尾崎 誠（おざき まこと）

50代 / 6年目

尾崎ストロベリーファーム 代表

就農地域	河南町寺田
栽培品目 (品目・時期等)	いちご（高設栽培）
従業員数	自分1人
経営形態	個人
プロフィール 栽培方法・ こだわり	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめの一步村1期生、2期生、いちごアカデミー1期生 ・元メーカーSE、新規就農4年目 <p>こだわり：苗の持っている力を100%引き出すこと</p>
受入実績	はじめの一步村4期生、きらめき農業塾1期・2期生、他
研修方針	定植、マルチ張り、葉かき、摘花、ランナーカット、収穫、パック詰め、点滴チューブ交換など
研修・体験で きる内容	※初めて来る方の対応が困難な時期：12月下旬以降の午前中(収穫・パック詰め)や、2月以降の土日祝終日(いちご狩り)、薬剤散布の予定日など
その他特記事項	<p>数年前の2018年11月頃は、まだサラリーマンをしながら農業研修をしました。</p> <p>立場的には塾生の皆さんに近いと思いますので、体験実習しながら、いろいろ質問してもらえればOKです。</p> <p>よろしくお願いします。</p>

研修受入農家の紹介



橋中 陽平（はしなか ようへい）
40代 / 6年目
農園 陽ノ丸（ひのまる） 代表

就農地域	富田林市佐備地区
栽培品目 (品目・時期等)	【メイン】 通年ミニトマト 【春夏】 果菜類中心に30品目ほど 【秋冬】 根菜・花蕾類中心に20品目ほど
従業員数	本人のみ
経営形態	個人
プロフィール 栽培方法・ こだわり	土づくりにこだわり、有用菌をふんだんに入れる事で土壌消毒に頼らない栽培をしています。 追肥は全て葉面散布とし、予防農薬を混ぜて定期的に散布することで高糖度減農薬の野菜を作っています。 また、自動灌水・自動換気（実験中）を自作する事で省力化を追求し、「先に苦労する事で+αの時間を作り出せる栽培」を常に心掛けています。
受入実績	まだありません（第3期より受入農家の一員）
研修方針	農業大学校にて2年間かなりしっかりした農業知識を身に付けられたので、大抵の質問には答えられると思います。 卒業後に古川農園さんできっちり修行させてもらった事で、実技面でもお話しできることも多いと思います。
研修設計の考え方	「覚えてもらう」よりも「理解してもらう」設計としたいです。
その他特記事項	私は元金融SEの新規就農5年目です。自然相手だからこそ、ロジカルで対抗できるところは徹底してロジカルで奮闘しています。 出荷先は、直売所や飲食店、百貨店やホテルですが、1人での営農なので「畑まで野菜を取りにきてもらえる事」を念頭に置いた結果、多品目栽培を選びました。マルシェも市内をはじめ幾つか抱えているので、その辺りの苦労話もお話しできます。 一から百までの仕事（姓）を全て決めてこなせる、文字通りの百姓と一緒に目指しましょう！